### オリジナルアプリ①

ガントチャートを使用した目標達成アプリ

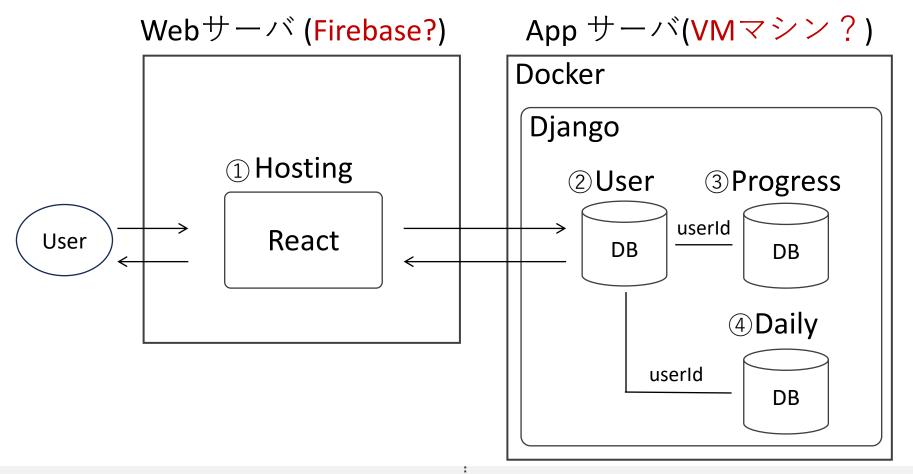
#### 機能概要

- ・目標、達成期間を設定して、ガントチャートで進行度で管理する
- ・追加機能で学習内容や重要なポイントを残せて、後で見直すことができる (復習、疑問点など)
- ·Chatbotで学習内容の検索ができる

#### 作成理由

- ・何人かの著名人の発信で、ガントチャート(マイルストーン)を 見えるところに置くと達成の度合いが違うと聞いたことがきっかけ。
- ・ExcelやNotionを使用したが、自分にとってシンプルで使いやすものがなかった。

#### 構成



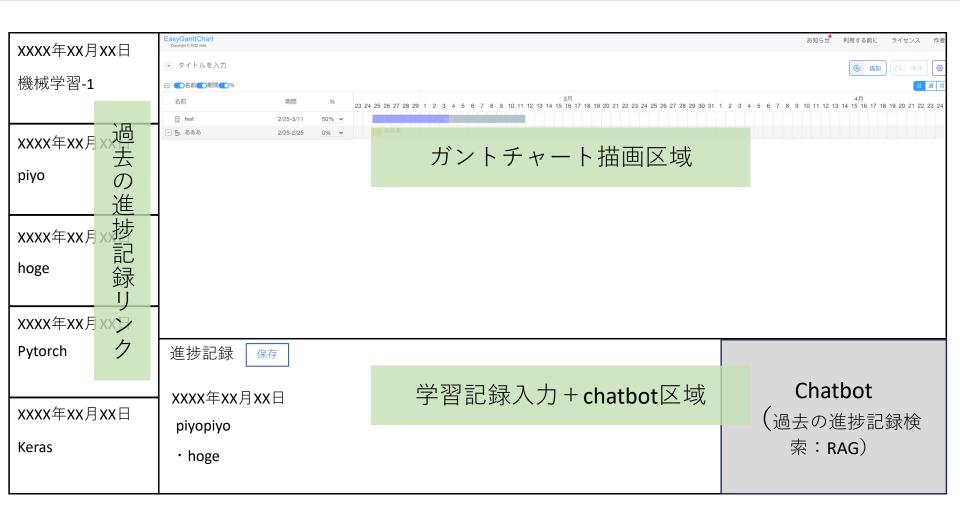
#### Webサーバ側のやり取り

- ① -1 ガントチャートの描写 <- Progress
- ① -2 目標の設定 -> Progress
- ① -3 進捗入力 -> Progress
- ① -4 進捗記録入力 -> Daily

#### appサーバ側のやり取り

- ② -1 user情報
- ② -2 userIdを外部キーにする
- ③-1 設定した目標・進捗進度情報
- ④ -1 進捗記録の情報 <- chatbot

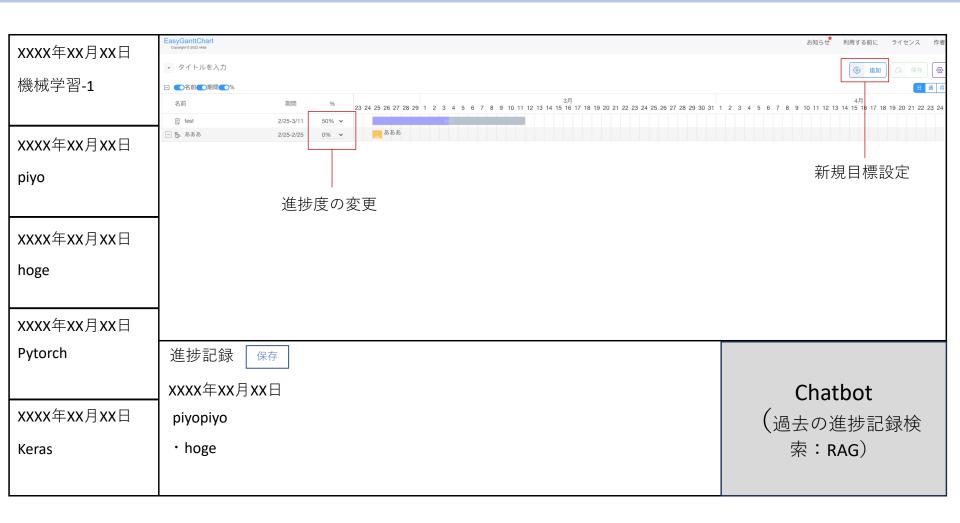
### ガントチャート&学習進捗画面



↓参照

https://qiita.com/nkitao/items/cd70fc8f0fbc0983ec69

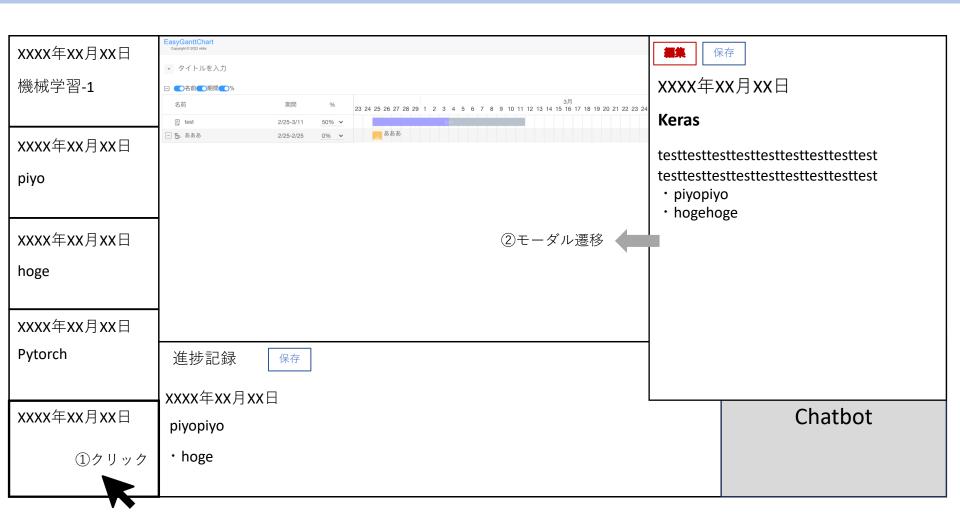
## ガントチャート&学習進捗画面-動き①-



↓参照

https://qiita.com/nkitao/items/cd70fc8f0fbc0983ec69

# ガントチャート&学習進捗画面-動き②-



↓参照

https://qiita.com/nkitao/items/cd70fc8f0fbc0983ec69

# 2つのページに分けるパターン

## ガントチャート&学習進捗画面

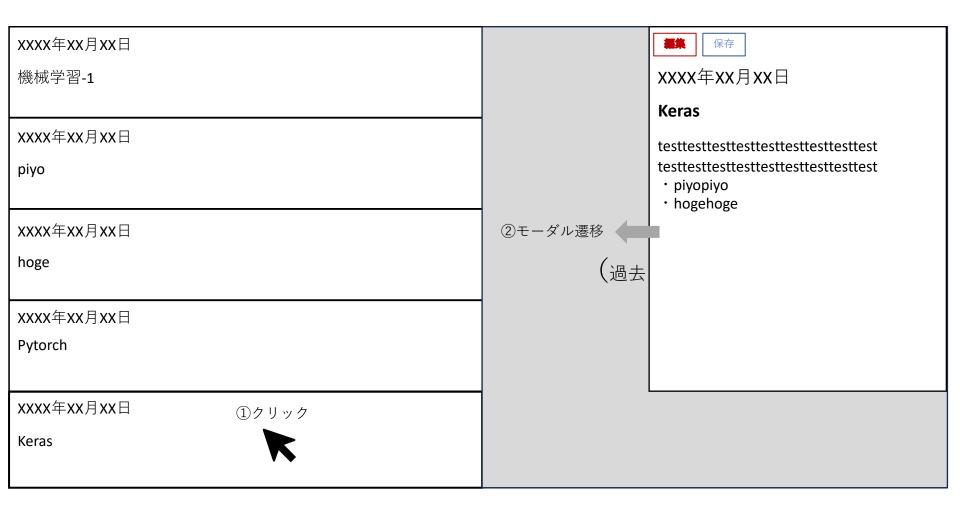


↓参照 https://qiita.com/nkitao/items/cd70fc8f0fbc0983ec69

# ガントチャートページ

XXXX年XX月XX日 機械学習-1	
<ul><li>過去の学習リンク</li><li>xxxx年xx月xx日</li></ul>	chatbot区域
piyo	
XXXX年XX月XX日 hoge	Chatbot (過去の進捗記録検索:RAG)
XXXX年XX月XX日 Pytorch	
XXXX年XX月XX日 Keras	

### 進捗記録ページ



### 今後の動き

ガントチャートか押印アプリのどちらを先に取り組むか決めた後に ガントチャートアプリを作成すると決めた場合



- ①. ページの構成1ページか2ページか決める
- ②. アプリを作成 (3週間)